農場通信　2024年　6月号

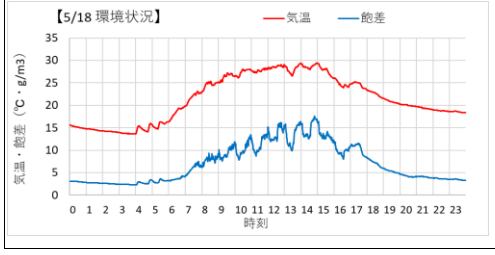
2024/5/25

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！　圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

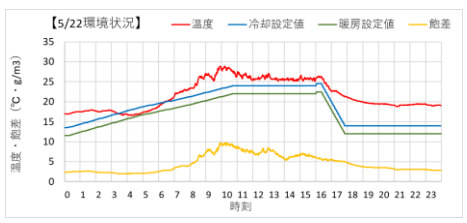
① 圃場　ハウス ② 試験内容　　③ 開始日　④ 終了予定

品目 栽培中 栽培準備中 今月最終	圃場写真①	圃場写真②
直近の環境データ・管理方法（晴天日） ※特に表記のないものは 設定と実測の**温度**を示しています		今月の状況 と 今後の管理

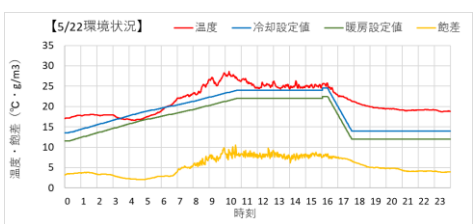
① 第4　A　② ココバッグ展示
天敵によるコナジラミ防除試験　③ 2023/8/30 ④ 2024/8/10

大玉トマト		
		品種：桃太郎ホープ　2023/8月末定植。 今作は、ココバッグ通常タイプ、試作の「ミニ」、ロックウールで比較試験をしています。 5月時点までで、各培地で収量や草勢に大きな差は出ていません。培地に適した潅水管理をすれば培地容積や素材は収量に大きく影響しないものと思われます。 天敵（タバコカスミカメ）を使ったコナジラミ防除は現状とても上手く機能しており、年明けから殺虫剤はほぼ使用していませんがコナジラミの多発はありません。 6月中旬に、天敵防除の成果見学会を企画していますのでご興味のある方はぜひお越しください。

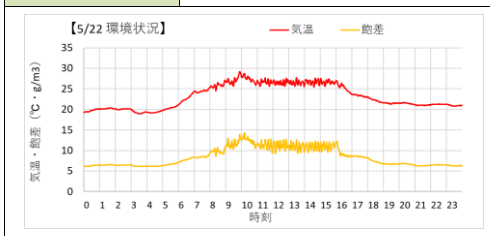
① 第4　B　② ミニトマト品種比較試験　③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

ミニトマト		
	5月９日に摘芯を行いました。 今月で栽培終了となります。	

① 第4　C　② 大玉トマト品種比較試験　③ 2023/7/28 ④ 2024/5月

大玉トマト		
		５月をもちまして栽培を終了いたしました。

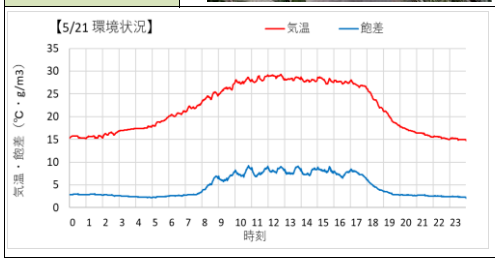
① 第4　D　② アールスメロン品種比較試験　③ 2024/5/9　④

アールスメロン		
	5月９日に定植しました。 現在EC2.3株当たり800ml潅水しています。	

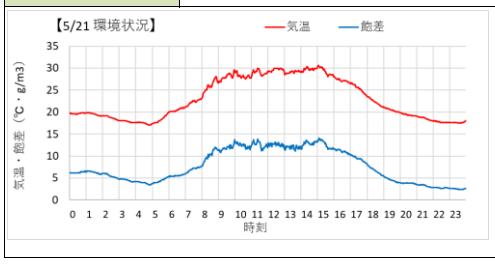
① 第4　E　② イチゴ栽培試験　③ 2023/9/7
2023/9/20　④ 2024/5月頃
一部6月まで

イチゴ		
環境データ無し		５月初旬で一部を除き栽培終了しました。 クラウン温度制御試験区のみ、６月まで栽培延長し、クラウンの冷却が高温期の収量に影響するかを確認していきます。 ５月以降の環境管理のポイントは、とにかく気温を低くすること、日射が強すぎるので遮光を積極的に行うこと、害虫の発生が多くなるので日々の観察と定期的な農薬散布を怠らないことです。

① 第4　J　② ココバッグによる多収技術開発
栽植密度・葉面積管理試験　③ 2023/10/6　④ 2024/6月予定

キュウリ		
	2023/10/6定植。ココバッグは2年目になります。 品種は埼玉原種の「S-40」を栽培し、栽植密度と葉面積の最適値を検証します。 5月中旬時点での収量は約35トンとなり、今作は1作40トンが狙えそうな状況。栽植密度や葉面積の違いによる収量差は思ったほど出なかった。 6月は最終盤となるので、引き続き害虫防除の徹底と葉面散布により樹の負担を少しでも軽くしてきます。	

① 第4　I　② 高糖度ミニトマト品種比較試験　③ 2023/8/18 ④ 2024/7月

高糖度ミニトマト		
	2023/8/18定植。 高糖度トマト専用の肥料処方を使い、給液EC2.0からスタート。11月以降は給液EC5～6まで上げ、排液ECは20.0以上となるように管理してきました。 春以降は給液ECを4.0程度まで下げて、給液量も増やして排液を出す管理に切り替え、草勢を落としすぎないようにしています。 糖度は品種により差がありますが概ね9.0～10.0程度。6月初旬に摘芯し、7月末くらいで栽培終了予定です。	

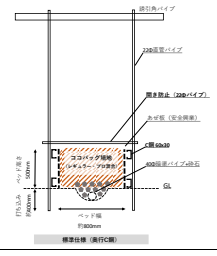
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社
ToyoTane

研究農場　　TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371　FAX(0532)41-2015
URL https://www.toyotane.co.jp/
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6　② スイートコーン品種比較試験　③ 2024/3/15 ④

スイートコーン		
1作目：2024年3月15日播種 熟期82～85日の早生・中生タイプを17品種栽培 2作目：2024年4月15日播種予定 熟期85～90日の中生・晩生タイプを15品種程度予定		1作目　3/15播種 5月下旬時点で出穂中。初期生育の影響か株によりバラつきが大きいように感じます。アワノメイガ対策でデナポン粒剤を散布していきます。 2作目　4/15播種 品種により発芽勢に差があり、そのまま生育差が出てしまっている状況。追肥土寄せを行い、生育に勢いがついて欲しいところ。

① 第3　M　② アスパラガス枠板式高畝栽培試験　③ 2023/6/2　④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「枠板式高畝栽培」の実証試験。 枠板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。空きハウスで無加温作物の一つとして提案できれば面白い。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類試験します。 2月中旬から収穫開始。立茎した枝の葉が展開する4月は一旦収穫がストップしたが、5月に入り再び収量が増加しています。アブラムシ・アザミウマ・ヨトウの発生が見られるので定期的に農薬散布で対応します。

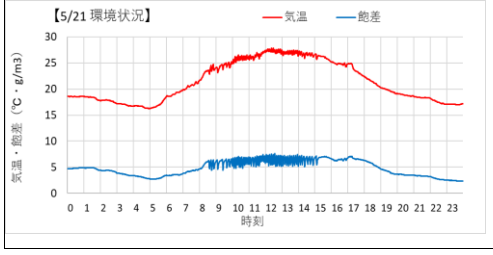
① 第2露地　② キャベツ品種比較　③ 2023/8/23 ④

キャベツ		
冬系キャベツ ①年内作　8/23定植 【終了】 ②年またぎ作　9/5定植 【終了】 ③年明け作　9/20定植 ④3～4月作　9/27定植 春系キャベツ 年明け作　9/27定植 初夏キャベツ 5-6月策　2/20定植		初夏キャベツ栽培中、結球初期です。 病虫害に気を付けて管理していきます。

① 第2　露地 ② ブロッコリー品種比較　③ 2023/8/21 ④

ブロッコリー		
1作目：7/25播種　8/21定植 2作目：8/16播種　9/15定植 3作目：8/29播種　9/26定植 4作目：9/12播種　10/11定植 5作目（春作）：12/5播種　1/19定植 12/5播種　1/19定植		今作の栽培すべて終了いたしました。

① 第8　② 大玉トマト高糖度栽培試験　③ 2023/8/18　④ 2024/7月下旬

高糖度トマト		
		品種は昨年同様、麗旬・台木はアーノルドになります。今作は「高糖度トマト安定生産技術開発」の3年目になります。今作は増枝による増収技術の確立を目指します。 年内と年明けに増枝した区は個数は多いものの玉が小さく、残念ながら大幅な増収にはなりませんでした。コナジラミが多発しており、農薬散布をしてもほとんど効果が無い状況。次作はこのハウスでもカスミカメを導入したいところ。 6月初旬に摘芯し、7月末で栽培終了予定です。

豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場　　TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371　FAX(0532)41-2015
URL https://www.toyotane.co.jp/
E-mail info@toyotane.co.jp